瀬月抄

一十五

秘閣藏書

石醫文庫

幻 細 巻名幻術号之 [illegible]

[illegible] 幻術もてをいなり。

変化〳〵虚空に花をあつめ [illegible] 曷桜 氏奇

八源氏君房乃宮とぶを [illegible] 玄宗皇帝の後宮に道

士幻術をもちて楊貴妃の魂魄を求りまをしてこと。

[illegible] 幻は説文相詐惑也。増韻妖術也。即今呑刀吐火植瓜

種木之術皆是なり 細 源五十二巻の正月より十二月すぐを

[illegible] 巻上をもれぐきん月〳〵月をよ〳〵えま

なるさをあ〳〵つせて。さぐ海ふかるりめく 盃日記 花をるよ蓋

八源の四十八の年生也 [illegible]

[illegible] 紫上世

の時に [illegible]

[illegible]

のさきけ 細 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

亟芳上道去のかたうれ
りをうらうらのうら 仲忠
のさいはりうらうら
まくせのかたも 源の中納
の宿業のかたく
うらうらのかたうも
んの想ひこのうぐりを
ちくぶくひ道世の遠く
さてても光よかうう
ドのうく
今久家氏ぐ申く 第上の
えを立ハ道世好ぐ与ぎを
みれ仲忠人氏朝臣ちまんを
ひめとーのうひくくしまる
物 抜知に千行夏方行と
源のかをとうれうれ抜ぬう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

源の女　細殿の天の川
待ちえたるうれしさの
ぞそるまでうの匂とのく
ゝ花
ゝゝくしきはなのくさ
ゝりの　源の宮仕所の
ゆのくさめよ匂えをま
つせをえて
くゝのはをひゝらぐて
ゝゝのはのはの紅梅
孟あよはれもとめし
ゝゝまで三月の

わんでゝゝぐてゝおひつゝゝさせとゝもえそゝいき
やり給ゝゝぐずれゝゝぐゝよ柳ゝもとゝゝ
のゆゝさゝまつゝよつげゝゝえいてゝきゝゝゝ
源のゝゝあゝゝゝゝゝまゝれいてゝゝゝゝて
いつゝゝゝよゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

まぶ〜つ〜おつす。すこのまれうらん
よをうらうとて。おきんの屋とそもこのこと
うらとこうとうてるどめ給女房る
どとうのれうこれいろうんねとありれ
いのうわひるうもおやそこるやうう
いわしび分つ〜のれるとそもいろん
まつるるうれこうこうるやつ〜てむ
の直衣
りんと新りれうつひるどもいとを
ろそうよこうこそそびしうのうろ
ばそげ上ろやうるれば
保
今いてわ〜やそんるこ人の心とで
やうまのうこねと人やうるるこびうう

まぶ〜つ〜の四位衣とうこの四位衣とうこの四位衣とうこの

あさくらの　哨　さうず清
氏　細　清さんく　盃　女のん
の　清　ふ　も　と　り　て　と　原
の　く

まぐれうくとをひまて　ひとりのさよ思
ふるれまるもいとうくやまくあさ人の
る女のけんざーみづ　とれわるくく　品れ
しくゆやさうあのくれ乃々ぐへしてい
と西白くくあれだ　雲よくうくせくし
人なくて　花の多をさうくくのをれさう
ふを　伝のけんざくりみてくそうべりえん
とのなて　ふのまへのやまぶさくて　仕世
よ見くくあ花のく海なれあさの世ささ
などよ　ちなくうるどいとくそざりを
ふ花あやあんん花やうまみざくく
きうくいいと西白くりのよんあうる

細時花と次の仕花よりあさ世くう
哨六条院南のみくく紫と花多ひ一方く
花やうよみきてくしく
伊　山吹のく敷物紙上何
みをくちりけうくう
いうう　美本のうへよくを
つけてくく見作るうあ
ありき

伊一人なりき　細　紙と書
を昔のこさよ白花と
久人の彩を高りき
若よ八美りと　細　女三宮の
伊君りうく伝とりくの給
へと和ひとりく伝とりて
而原の身ようりて宮り
ようく　光なき若よ八美
をくうくれだけきて
くく盃和ひをりく伊
伊　光りうき若よ八と仕女
三宮の早下ひくされも
和ひとりをりとりくを
りうけとりてやくう
きう給りうん
そのくとけくくでも
細　見よりけても気上の
りをりおりうく一り宮
そりよくだりと思ひし
くりのりりくくく
和泉式部　出八でそよそ
くくりい和くを光の
巻くくりりりりと
とりの

うへくくんりきを　とくくれ　ほまそづね
くりくと白ひくりくりくくを春よ行れくの
給れいくりくよ若みた去りとりよりすく
なくく給りをくくりくくくを　（西のくく）
さくくよりつけてくそのくくれさくくく
ありりんうくくりりよりだい海りうくて
やくくりいくけりりりほどくりう
（紫上の物さるく対のくく）　（紫上の若くりのりりりり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

紅のさくらかさね　細はなだ色に服着のこ
うばのうへ　花紅のうら
ま黄朽葉のうへ　蘇芳
黄丹　中将の衣　服着の
男　紅梅　中将の衣　服
くれなゐ　若紫　服
とぐ　一葉のうら　うへ

て　源氏のうへ　うつのうへ　海の色　やう女房　孟　海の色
みぐつまさうぞくしうん　細　源の仁智の
出てそよう　ちごの袴　中将の　源のこひん
りてよう　ねうと　あゆ　源のこ　おつてこ
きれいと　さぐやうよ　おつこさ　海しそ
やきあぐ　うつ　中将のねはきさう　紅のうへ　紅梅
ひうう　ねりそ　てむそう　つぐこ
しうこの　うちぐいておつ　げや　紅梅
よ志　ぬくて服の　きぐ　けそひ　うう海　うんざう
いろのひこ　いとこ　ぐこび　よろこさな
どうつ　ぐうう　ねりこ　ねる
もめこそ　ぐーう　ろとく　ひこ

このゆこそ　ゆれよ　紅　細　宣　上の　源の　中将　源
けみぐ　すうよ　ひとこ　つうよ　海の　ひてい　ゆとや　れこ
うと　とうの　ひてい　ゆとや　れこ
そうそ　れよう　れとの　うこへ
のうこ　よるこ　のうこ　のよう　こまわ　先ろふ
もの　げよと　いとち　うこて
源　こへ　ひこて　こーし　世うれ　ども　あひ
こうこ　やつこ　ねこ　ぐこ　ひこ　ぐこ　ひこ　ぐう
北　北　孟
ぬ　ぐう　ねこ　ぐこ　ぐう　ぬこ　ぐう　ぬこ
どう　ぐこ　ぐう　ぬこ　ぐう　ぬこ　ぐう　ぬこ
こう　ぐこ　ぐう　ぬこ　ぐう　ぬこ　ぐう　ぬこ
こう　ぐこ　ぐう　ぬこ　ぐう　ぬこ　ぐう　ぬこ
源　十五日の　十よ日の　孟
こう　ぐこ　ぐう　ぬこ　ぐう　ぬこ　ぐう　ぬこ

のんをも思ひのれらまぬあるよ名さへわるさ師しるべのおのれ何海よさ名くもりそくとそと
おのもしるべのみちをすくるよ名ばかりをとるよ名ばかりをとるよ名ばかりをと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

つけてぐみそうひろうそうそうろう 拾回歌
てんくし 細 朝と出てくる面白し 紙を結び紙書 めるよ 朝さへうくるる
もそうそうぐうぐうぐうとうるくなりとえんく 盃ぐしいくんく 師 紙をく
れよ者とそそんくんれぐく 細 揚貴
夕殿よ蛍とんく
妃の紙 ほの夕殿蛍飛思
情然孤燈 挑盡未成
聽 師くくくくくとは揚者
妃のおと 蛍とんくんくんくも
るんく
ようとうろうろを 苑 蕭薇
水晶蛍 知夜 晩 蛍は夏歌
をもう 紙をひは夏歌の美
別もるきんくも 細 紙分
のとうもう 弱とるとと

源
くくもうろうすぐよのくくちるれまり
盃 十月よるく
ともるとそそくもれくさい時ぞ
くくくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

伝 涙の名ゐ
伝 源 与輪 俱悲旦吟黄
壊誰知我白頭独念君
唯恃老年涙一灑故人
文 天元年 文集序

たでの山 細 わとこ 弟弘
し師山をこゆるとて
よ弘とをとゝもとゝ
伝 十王経文 死天山門集
鬼神ゝ
世ゐ〳〵 孟 源 人の身
し師ゆく忘ゐ別を
る事とゝふりていい
る翁ゐゝ

れぬゆそでのうかつる出湯のあづさゆ
ゐゐれそゝ人をあまりゐゝけゝと
ゐゐゐ人をあまりゐゝけゝと
ゐゐゐ人をあまりゐゝけゝと
ゐゐゐ

源氏乃初まを初るこゝろ師
こゝ法會ゆゑと紙をとゝろ幸又連綿
さう同をくつゝのさゝりもも　花師中佛名の第二夜よ御誓の勅願
首尾近中倚和氣基以搆津國柏梨尾寺花近府官人の酒料よりそこゝ是ゆゑ
仏名の歌尾近府　勅願のゆゑ
録をゞ給こゝ
花延喜十九年佛名導師
要晴律師賜御師古
女天暦四年仏名導師
逢藏よ三礼之名自蔵
中結御衣
こゝろくやゝ　細白頭
夜礼佛名経のゝゝり

作法こゝりも。こゝわゝせゆてゞこゝよろくゝゞ
給つゝ。こゝゞこゝろ久こゝくこゝろ。紙のやゝけよ
もつゝゆゝ。こゝて。接ゆゝもゝゝんゞゝるれこゝ
山寺師のゝゝらはやゝくゝいゝうはつゝて
こゝゆゝらゝゝと。義よゆゝこゝる。例のゝゝこゝ上入
道紙をゞ　細朗和ゞゝ
づゝよ氣こゝゞこゝゞゝゝて。雪よりてこゝや
こゝれこゝる紙ゆゝこゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　細同忌こゝゝゝれゞ
ゆゝゞこゝれゞ。花こゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

をさせんとてつくりたるものなれども
れあるこゝろにて
ふのびてこゝろにて
物をふとこゝろ月日もこゝろぬまよう
と殺世もくるやつきぬるつゐたちのわど
とうよてうれ物
のこゝろつねこゝろとるべくとこゝろく
させふこゝろだ居のはひこゝろでりの
ゐぐのこゝどるどよるこゝろぬがこゝろ
けてこゝぞ